

# 地方公共団体への支援について 〈橋梁点検・診断実習〉

資料2-3

- 県内の自治体職員の橋梁点検・診断に関する技術力の向上を目的とした「橋梁点検・診断実習」を実施。
- 新しい道路橋定期点検要領に基づき、地方自治体が管理する橋梁を対象に、自治体職員自らが点検及び診断を実習。



自治体管理橋梁で自治体職員自ら点検  
(11月6日 富山県砺波市)



自治体職員による点検・診断記録作成演習  
(11月6日 富山県砺波市)

## 【参加者のコメント】

- 今回、近接目視点検を行なった結果、桁端部の損傷や劣化が、意外と進んでいる事を実感したので、非常に参考になった。
- これまでは、橋の損傷原因まで深く考えていなかったが、今回の実習で損傷原因の推定を診断し・記録する重要性について理解できたので良かった。
- 自ら「点検記録」を作成することができ、参考になった。

## 【参加状況】 ( )書きは、参加人数を示す。

【富山県内】: 3市、2町(計21名)

- 11/ 6 砺波市〔谷内川橋〕 : 砺波市(4)、小矢部市(3)、氷見市(2)、入善町(2) 計11名
  - 11/ 7 立山町〔第二米道橋〕: 立山町(10) 計10名
- 合計21名